

2010年度の総会が無事終了しました。皆さまのお手元に資料とアメニティ・レポートが届いたことと思います。創立10周年記念号はこの10年の歩みをふりかえる号です。手作りではあげた冊子をゆっくりご覧ください。

## お知らせ

- ・第5回英国ナショナル・トラストの旅 6月10日(木)~18日(金) アイルランド
- ・第7回園遊会 7月24日(土)25日(日) ヴォーリス六甲山荘
- ・創立10周年記念コンサート 8月24日(火) 出演・アンサンブル アメニティ 会場・兵庫県立芸術文化センター
- ・創立10周年記念 神戸国際ワーキングホリデー 9月1日(水)~6日(月)
- ・創立10周年記念講演会 10月9日(土) 講演・河合雅雄氏、山極寿一氏 会場・関西学院中学部講堂

### 予告1

### 園遊会 at ヴォーリス六甲山荘でお楽しみください

今年の園遊会は夏にいたします。六甲山上のさわやかさが一番実感できる季節です。音楽を楽しみ、アート作品を楽しみ、お茶を楽しみ・・・山荘の居心地の良さも楽しめるひとときです。お昼ごはんも用意いたします(先着順)。お知り合いをお誘いのうえどうぞ参加ください。

日時 2010年7月24日(土)25日(日) 午前11時~午後3時半

音楽演奏 24日: フランスシスター(高井和代)

25日: アルパ&ギター(田村恵子、松田崇弘)

参加費 会員1,000円 一般1,500円 (要予約、いずれもお茶券つき)

## 【コラム】

### アメニティ・レポート創立10周年記念号を編集して

清水 順子

10周年記念号の10年をふりかえる部は特別寄稿、会員の声、活動の記録と写真、新聞記事という構成にしました。一読いただくと私たちの活動の多様さ、人の輪の広がりの広さを実感していただけたと思います。特に会員の皆さんの当協会へのつながり方がさまざまなことがよくわかります。皆さんの原稿を編集しながら、私は点描による絵画を連想していました。間近で見ると色のちがう点がたくさん描いているだけに見えますが、遠くから見ると色彩も構図も整った一幅の絵になっているのです。今後も色彩ゆたかな点がふえてすばらしい絵になりますように、次の10年、50年が楽しみです。

今回編集で一番時間と手間がかかったのが記録の部分です。行事の表はできているのですが、それに添える写真を選ぶのがむずかしい。たくさんあるCDから「これ」という1枚を選び出すのに、どこに収納したのかと探しつつ、あれかこれかと迷いつつ、貼り付ける位置に悩みつ・・・と作業は連日深夜深更におよびました。その間に「ああ、こんな所にも行ったなあ」「こんなこともしたなあ」と記憶が迷走するものですから、ますますはかどらない。とはいえ、しんどいながらも楽しい時間でした。

ところで私たちのアメニティ・レポートはすべて手作りであることにお気づきですね。印刷は製版印刷機と家庭用プリンターをフル稼働させて印刷。製本も公共施設の丁合機を使って、あとは人海戦術です。印刷漏れがないかチェック、丁合いされた10枚ずつを1冊にまとめる、乱丁のチェック、もう一度チェック、大きなホッチキスでとめる、製本テープで仕上げる・・・今年は450冊完成を目標にして、5月24日(月)から始まった製本作業は**現在もまた**続いています。編集にかかわった会員は6名。印刷・製本にかかわった会員はのべ43名にのぼります。(参加者氏名は別途ご紹介します)大変手間のかかる作業なので、できれば外注したいところですが、冊数が少ないこととカラー写真をたくさん入れた内容では(今回は特に)価格的にもおあいけません。おそらくまだ数年は手作り作戦が続くことと思います。来年5月にまた作業スタッフを募集する時には、皆さんこそってご参加ください!

丁合い前に印刷漏れがないかチェック



**ご報告1** 建物の保存を考える in Tokyo 5月8日(土) 根津、千駄木方面

スタートの「はん亭」は大正築の木造3階建ての建物。つづいて千駄木の町並みを歩いていくと、あちこちに風情ある建物が残っていて飽きません。根津教会は小さいけれどとても大切にされている幸運な建物。そして旧安田邸は立派な日本家屋の屋敷で、管理しているたてもの応援団の皆さんとの交流も楽しかったです。企画してくださった横道洋子さんに感謝です。

参加者 27名



旧安田邸でたてもの応援団との交流

**おしゃべりアラカルト**

**歴史的建築物研究会再調査に参加して**

田野辺 恭子

今回初めての研究会参加で芦屋川に集合後、調査カードを手歩き始めたが、ボードを持たずにいたので早々と準備不足を痛感。写真を撮っているとメモに余裕がない。山田歯科医院、旧藤波邸と次々に個性ある建物が姿を現わす。印象に残る建物をあげてみたい。

堂々とした姿の芦屋仏教会館は専門的なことはわかりにくい。震災の時建物の地面が免震構造のような働きをして建物への影響が殆どなかったという。会館内部はまるで教会のようで木の椅子や入口側には二階席もある。新しいガラスだが蓮の花の形のステンドグラスもなかなか良いデザインだ。

午後は深江文化村と呼ばれる地区へ。ここはかつて敷地の中央に400坪の芝生の中庭がありガーデンパーティ等交流が計られたという。外からの見学の所、思いもかけず富永邸に招かれ暖炉のある居間、アンティークなダイニング、ご主人好みの真白い台所と心地良い趣味の空間を私達も体

.....

験することができた。深緑の板張で日本初米国製2×4の住宅は大正11年に建てられた。震災の影響があっても愛情を込め大事に維持されていて嬉しいことだ。

その後海沿いのスパニッシュの旧小寺源吾邸へ。階段1段目角は丸くなり、台所引出しのガラスのツマミはヴォーリスのようだ。以前見た山形先生は、床の間が立派でヴォーリスではないのではという話で残念!! そうですね暖炉上部の棚を支える部分はクネクネと唐草で確かにこの形は見たことがない。

多大な被害の地区で失くなった建物も数あるが、様々な努力で維持されている物も多いと思う。存続が気になる建物もあるのでまた訪れたい地区である。



富永邸

**ご報告2** 2010年度通常総会 5月29日(土) 草志舎

定足数を満たして総会は成立し、議案はすべて原案どおり承認されました。特に創立10周年の記念事業について各担当者から熱心な説明があり、期待がいっそう高まりました。総会後の交流会では持ち寄りのご馳走がたくさん並び、楽しい懇談のひとつときとなりました。

参加者 38名



**六甲山荘だより**

**5月の六甲山荘**

5月の連休になるとさすがに気温もあがってきて、春の花が次々と咲きはじめました。シャクナゲ、水仙、芝桜、ショウジョウバカマ、ヤマツツジ、都わすれ、そしてクリンソウ。山椒の新芽もたくさん出て、ランチの皿をかざりました。

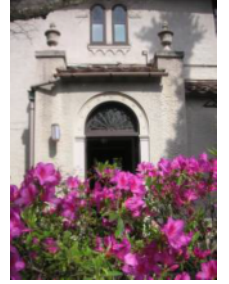
先日うれしいことがありました。女性の来場者が「先日駒井家に行ったとき、この山荘のことを教えてもらったので来たのです」と話してくれました。そこへスタッフのFさんが姿をみせると「あ、あの人よ!」二人は再会を喜びあいました。六甲山荘と駒井家という二つのヴォーリス建築を運営していると、こういう楽しいことがおこるのですね。

公開中も作業は原則として第2、第4土曜日に行います。これからは寒くなく暑くなく動きやすい季節です。公開スタッフとともに作業スタッフへのご参加お待ちしております。



5月は極端に不順な天候で、夏のように暑い日があるかと思えば暖房を入れる日があったり、体調管理のむずかしいひと月でした。来場者はあいかわらず日本全国から来られて、スタッフも張り合いがあり、うれしいことです。  
来場者数・177名。

7月中旬まで毎週金土に公開します。スタッフとしておいでいただける方はご連絡ください。



**私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!**

**ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000万円)**

4月の募金状況 35,000円<累計8,371,249円(560名から1,489口)>  
会員 30,000円(5名から6口)<累計4,339,770円(374名から865口)>  
一般 5,000円 <累計3,157,345円(191名から629口)>  
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>  
その他 0円<累計793,134円>

振入口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ2000協会



六甲山上にたてられた近代化産業遺産の案内板。(記念碑台、ケーブル山上駅、近畿自然歩道付近)  
六甲山荘の写真と案内がのっている